

No 11	活動名 <h1>川遊び</h1>				
活動の概要		川の地形や流れを利用して川遊びを体験したり、魚採り等を通して川周辺の動植物に親しんだりする。			
ねらい	規律	友情	協同	奉仕	自然
	◎	◎	○	○	◎
活動形態	<input type="checkbox"/> 自主活動 (各団体での活動)		<input checked="" type="checkbox"/> 指導依頼活動 (指導員の説明、指導が入る活動)		
時期	5月～10月	時間帯	日中	対象	幼児～
場所	永沢川	人数	～150人 ライフジャケット(大)60着、 (小)90着、(幼)40着 ヘルメット180個	所要時間	約2h～3h
準備物	各団体		県南青少年の家		
	水着(水着の上から着衣してもよい)、キャップ、(ゴーグル)、タオル、靴(かかとまでしっかり覆っているもの)、救急用品		ライフジャケット、ヘルメット、タイヤチューブ、魚とり網、水難救助用ロープ、熊鈴		
活動展開例					
活動内容	研修生の動き	団体引率者の動き	指導員の動き		
実施判断		・天候や水温等を考慮し、川遊びが実施できるか指導員と話し合う。	・川の様子や状態を確認しておく。		
事前準備	・水着に着替える。 ・川遊び用の靴にはき替え、必要な荷物を持ってサイクリング車庫前に移動・整列する。	・水着に着替えさせる。 ・必要な道具を持たせ、サイクリング車庫わきのベンチにまとめておかせる。 ・サイクリング車庫前に整列させる。 (・準備運動をさせる。)※	・川遊びに必要な道具の準備をする。		
説明・用具貸し出し・移動	・説明を聞く。 ・ライフジャケットを着用する。 ・道具を借りる。 ・徒歩で永沢川へ移動する。(約10分)	・ライフジャケット、ヘルメットの貸し出しの指示をする。 ・ライフジャケット、ヘルメット着用の支援をする。 (・準備運動をさせる。)※ ・道具貸し出しの指示をする。 ・移動時に研修生の交通安全に留意する。	・川での遊び方とライフジャケットの着用について説明する。 ・ライフジャケット、ヘルメットを貸し出す。 ・タイヤチューブ、魚とり網を貸し出す。 ・永沢川移動の引率をする。		
川遊び	・活動 ・終了の合図があったら、速やかに活動をやめる。 ・借りた道具の確認をする。	(・準備運動をさせる。)※ ・活動中は川の上流・中流・下流で研修生を監視し、安全面を第一に支援体制を組む。 ・約40分程度の活動時間とし、活動終了の合図をする。	・入水し、活動の監視・支援を行う。 ・無線を使って活動の様子等について事務室と連絡を取りあう。		
移動	・徒歩で青少年の家へ移動する。(約10分)	・人数確認をする。 ・借りた道具の確認をする。 ・移動時に研修生の交通安全に留意する。	・青少年の家移動の引率をする。		
片づけ着替え	・返却の仕方の説明を聞く。 ・体や借りた道具を水でよく洗う。 ・自分の荷物を持って、正面玄関(バスタオルがひいてあるところ)から館内に入り、着替える。	・ホースを使用し、研修生及び貸し出した道具を水でよく洗浄する。 ・ライフジャケット、ヘルメット、貸し出した道具の返却をする。 ・忘れ物がないように荷物を持たせ、移動・着替えの指示をする。	・ライフジャケット、ヘルメット、貸し出した道具の返却の仕方について説明する。		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室等で着替えを行う際は、必要な物を持ち、移動してください。(盗難・紛失を防ぐために、ご協力ください。)</li> <li>・研修生の健康状態には十分留意してください。</li> <li>・安全確保のため、引率者は最低3人(陸上監視、1人 入水して監視、2人)が川に入って子どもたちの活動支援をして下さい。</li> </ul>				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雷が鳴った時や荒天時には、川遊びの中止を指導員が促すことがあります。判断は団体で行いますが、研修生の安全面を第一に活動を企画して下さい。</li> <li>・準備運動は、ライフジャケットやヘルメットになれるためにも着用後に行う事をお勧めしますが、人数や企画運営によっては着用前に行うこともあります。</li> </ul>				

